

解答例

一

(一) ア 遂 イ る ふ ウ 漠然 エ 慈恵 オ 便益

(二) 日本は労働者の同一企業への定着度や勤続の長さが大陸ヨーロッパに極めて近く、米国などのアングロサクソン系の国とは逆の端にある、と述べている。(69字)

(三) 手代から番頭にまで昇進するには、「登り制度」という定期的な人事考課のシステムがあり、昇進させるか退職させるかの選別が複数行われていた。(88字)

(四) 経営者にとっては新たな労働者の募集、養成訓練に多額の費用が必要となり、また労働者にとっては、これまでの生活習慣と熟練の破壊、賃金の減少、労働災害のリスクの上昇などの弊害が生じる、と述べている。(96字)

- (一) 土地には誰にとっても明らかな複数の利用価値があるが二重の意味で限界があることで係争性を帯びる一方、人体に比して格段に大きく、事実的に占有しつづけることが困難であるため、係争性への対処に事実性とは別の権利の位相が要請されるから。(113文字)
- (二) 土地には不可逆性があり、ひとたび誰かの所有地となった土地が誰のものでもない土地に戻されることや、物のように消滅したり消費されて漸減したりすることがないため、ひとたび権利の世界に招かれるや、そこから離れて事実の世界に戻ることが滅多にないということ。(123字)
- (三) 匿名的に増殖可能なこと。(15字)
- (四) 名前は、権利関係表示機能を持ち、周囲の認知を前提とする共同体的規範に結びついた価値体であるが、所有権の移転によって所有が始まるものではないために、いまや名前の所有が価値体の所有とは見なされにくいこと。(100字)